

一流は一流を知る

星またたく夜空を見上げたり、プラネタリウムやボイジャーの画像、アニメ「宇宙戦艦ヤマト」を見ては宇宙への夢を膨らませていた。2010年、地上から400km離れた真っ暗な宇宙から見ていたのは、青く、美しく、その姿を刻々と変えていく地球だった。私たちが暮らす地球、それ自体が、生きていた一。

星空眺めていた少女

小学生のころ暮らしていた札幌では、星空が本当にきれいでした。星を見る会などで天体望遠鏡からのぞいた月のクレーターや土星の輪は、手を伸ばせば届きそうなほどの迫力が忘れられません。兄の影響もあってSF小説を読んだり、宇宙アニメを見るのが大好き。千葉の松戸に戻ってからもプラネタリウムに通ったり、一方では動物や恐竜に興味を抱いたり。宇宙や生命に憧れを持ちながらも、それはイメージであって実感ではなかった。それよりは学校の先生になりたいとか、宇宙服のような



国際宇宙ステーションでの長期滞在

制服を着ているティズニールランドのお姉さんになりたいと願っていた子どもでした。

「宇宙飛行士」という存在を初めて意識したのは1986年、スペースシャトル「チャレンジャー号」打ち上げのテレビ中継を見たときでした。打ち上げから73秒後に、大爆発。これはSFの世界などではなく、現実起きた出来事でした。当時は「大変な事故が起きてしまった」と思っただけでしたが、目に焼

き付いて離れませんでした。笑顔で手を振る宇宙飛行士の映像や事故のことはその後、進路を考えたときにも思い出されてきて、いつの間にか少しずつ宇宙へと吸い寄せられていったのかもしれない。



刻々と美しく移り変わる青き「地球」は、生きています。

宇宙への夢の扉

宇宙への夢を実現させてくれたのは、日本を飛び越えての海外体験だったように思います。地元のラーメン屋さんで出会った外国人に、「世界へ羽ばたけるように頑張らなさいね」と声を掛けられたのは嬉しかった。中学ではアメリカの女の子と文通して、その文章や送られてくる写真に日本だけではない、他の世界への扉を感じました。大学院での1年間の留学が私にとっては初めての海外体験でしたが、日本から世界に視野が広がって、さらに宇宙への道へと導いてもらったとても貴重な経験でした。宇宙への扉は、そんな出会いやきっかけがつながって開くことができたものだと思います。

宇宙は、母なるふるさと

「宇宙飛行士」という特殊な仕事のように思われるかもしれませんが、「宇宙」へ挑むミッションのなかのひとつの役割でしかありません。技術者や研究者が結集して何年もかけて開発した技術やたくさんの人の夢を乗せて、それを背負っていくのが仕事。もちろん厳しい訓練や試験はありますが、そんな仕事の忙しさが100%なのではなく、家族のこと、介護、



全機体訓練装置でウィルソン宇宙飛行士と訓練を行う

子育て、地域のこともあって、さらに家族や親戚、友人、同僚など多くの方に支えられています。それにこれまで、いろいろな国の人々と出会って、宇宙への憧れや思いを共有してきました。自分が好きでやっていることから、どんなに忙しくてもどんなことがあっても決して文句は言えませ



モックアップ(実物大模型)内で訓練を行う山崎宇宙飛行士

ん。何があっても、優先順位をきちんと決めて行動して、すべて自己責任。強情なのかもしれませんが、信念を持ってあきらめずにやっていくだけ。あきらめなければ、きっといいことがあるはず。人事を尽くして天命を待つ。それは、「なんとかなるさ!」ということでもあるのです。

宇宙という存在は、私にとってどんなものなのか。それは、「ふるさと」のようなものだと感じています。小学校の理科の授業のときのこと、私たち人間の体を作っている酸素や水素、窒素といった元素は、宇宙の星を作っている成分とほぼ同じであると聞いて感動しました。ビッグバンで始まった宇宙の星のかけらと、私のかけら。それらがほとんど同じものなんだって…。宇宙という遠いイメージがあるかもしれませんが、人間は星と兄弟であり、私たちは宇宙の一部。ですから宇宙とは、私たちの大きな、母なるふるさとなのではないかと思っています。

心曇らさず、シンプルに

宇宙飛行士というのは、宇宙の現場労働者。地球から宇宙へと向かい、協力しながらより効率よくミッションを遂行させなければな

りません。絶対にミッションを成功させる、という強い気持ちがあります。一流とは、そんな「意気込み」と「心を曇らさずに見つめる」ことではないかと思っています。

さまざまな過程のなかで、どんなときも心をできるだけ曇らさず



地上サバイバル訓練

に、素直に物事を見つめること。偏見なく見て、優先度を考え、冷静に判断することが大切。さまざまなアクシデントに葛藤することもあります。目指す目標さえあれば、大切なことを見つめることができるはず。心を曇らせることなく、シンプルに見つめる一。それが一流であることの大切な姿勢なのではないでしょうか。

地上から約400kmの宇宙から眺めた地球は、とても青く、美しく光り輝いて、その姿は刻々と変化していました。山火事、火山、台風、アマゾンの熱帯雨林、砂漠…。それらは動いていて、地球そのものが生きていた。宇宙でのミッションは分刻みのスケジュールでしたので、ゆつくり堪能することはできませんでしたが、地球に戻ってきってから、後でじわじわと繰り返しその光景を思い出しています。

宇宙のなかで地球だけが青く輝いていた姿は、とても奇跡的でした。その美しい地球に、私たちは生きている一。宇宙の一部としてここに命を授かったことに、感謝しなければならないと思っています。

JAXA「宇宙航空研究開発機構」
宇宙飛行士
山崎 直子
(やまざき・なおこ)

1970年千葉県松戸市生まれ。日本人2人目の女性宇宙飛行士。東京大学工学部航空学卒業、同大学航空宇宙工学専攻修士課程修了。96年NASA(現JAXA)入社後、国際宇宙ステーション「きぼう」日本実験棟の開発業務等に従事。99年ISSに搭乗する宇宙飛行士候補者に選定され、基礎訓練に参加。2001年宇宙飛行士として認定され、アドバンスド訓練に参加する一方、「きぼう」の開発・運用に関わる技術支援業務等を実施。06年アメリカ宇宙局(NASA)のMS(ミッションスペシャリスト)に認定され、08年搭乗者支援宇宙飛行士として土井隆雄氏のミッションを支援。10年スペースシャトル「ディスカバリー号」に搭乗し、物資移送作業やISS・スペースシャトルのロボットアーム操作等を担当。ISS第22次/第23次長期滞在クルーとして、野口聡一氏と共に日本人宇宙飛行士が初めて軌道上に2人同時滞在し、共同作業を行った。10年12月から東京大学において航空宇宙工学に関する研究に従事。



山崎宇宙飛行士
ミッションロゴ

〈お中元推奨品〉

自然の恵み、伝統の技、人の手で作る本物の旨さ。

全国各地への発送も承っております
お申し込みはフリーダイヤル(料金無料)をご利用ください

インターネットからご購入いただけます <http://www.kanbun.co.jp>

0120-1728-19

■通話料無料 ■承り時間/9時~17時(日曜・祝日を除く)

FAX0120-1728-46

■通話料無料 ■24時間受付

- お届け先1カ所につき商品合計額が5,250円(税込)以上は、送料無料です。5,250円(税込)未満の場合は420円(税込)となります。
- お支払いは、郵便局・コンビニ・代引(手数料315円(税込))・クレジットカードでお願いします。(21,000円以上お買上げの場合は、代引またはクレジットカードで)
- 商品のお届けはご注文受付後、通常7日前後です。着日指定も承ります。
- ご不明な点は、左記フリーダイヤルまでお気軽にお問い合わせください。
- 沖縄県、鹿児島へのお届けの場合は、離島配送料金630円(税込)を、別途加算させていただきますのでご了承ください。

※一般的にそうめんはサラダ油やゴマ油を使用し製造されますが、寛文五年堂は油を一切使用していません。



▲いなにわそうめん・寒造り/木箱
NKS30(そうめん40g×20束入)
3,150円



モント・セレクトシヨンの
2010年・2011年
10年連続「最高金賞」受賞
国際最高品質賞 2007年・2008年・2009年・2010年受賞



▲いなにわ手繰うどん/木箱
WK10(うどん200g×5袋)
3,885円



モント・セレクトシヨンの
2010年・2011年
13年連続「最高金賞」受賞
国際最高品質賞 2007年・2008年・2009年・2010年受賞



モント・セレクトシヨンの
2011年
最高金賞「ゴールドメダル」

寛文五年堂
非効率主義

秋田県湯沢市稲庭町字三嶋34 TEL0183 (43) 2114・FAX0183 (43) 2855 URL <http://www.kanbun.co.jp/> ご注文専用 ☎0120-1728-19 受付時間 9:00~17:00 (月~金)

■秋田市・西武秋田店、イオン秋田中央店、ジャスコ各店、藤木、秋田県産品プラザ(アトリオン地下1階)、秋田市民市場 加藤本店、石川酒店(トピコ2階) ■大館市・いとく大館ショッピングセンター、他各店 ■鹿角市・関小市商店 ■大仙市・タカヤナギ各店、大阪屋、停車場こまち ■横手市・イオン横手店 ■由利本荘市・イオンスーパーセンター各店 ■にかほ市・泉屋商店 ■仙北市角館町・角館こだわり蔵 ■湯沢市・小川忠太郎商店、カドヤ ■秋田キャッスルホテル店/秋田市中通一丁目3-5(秋田キャッスルホテル2階)